防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業区域の所在地:	兵庫県加西市中野町字上山1455-1
2	発電事業者住所:	大阪市中央区南船場二丁目1番3号
	氏名:	有限会社フェニックス 代表取締役 徳山 明
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務所の所在地、その名称及び代表者の氏名
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	D認定設備ID: A709330E28
4	設置工事: 完了 工事中	
5	事業区域の面積(発電出力):	5,087 平方メートル ( 750 kW)
6	A、BのいずれかにOを入れ、(	)内に日付を記入してください。
	A 太陽光発電施設等と地域環境と(	D調和に関する条例第7条第1項の届出あり
	(届出 西暦	年 月 日)
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境と	 D調和に関する条例第7条第1項の届出なし
	(設置工事着手 西暦 2013	年 1 月 12 日)
7	発電開始日: 西暦 2013	年 3月 22 日)

			基準への適合状況等 (※2)		
=	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)		<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。	
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合		
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合		
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合		
の 確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合		
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合		

	設 置 不適地	地すべり防止区域が含まれていないか。 急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。 土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
設の	施設の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
排	(6)排水 施設 の能 力	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)			
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無				
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)			
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)			
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配:			
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無				
変状	沈下・隆起があるか。	無				
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし				
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし				
( <b>※</b> 3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし				
(6)経年によ	ガリ浸食跡があるか。	該当なし				
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	該当なし				
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし				
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし			

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業区域の所在地:		兵庫県加西市朝妻町字野田1220-1					1
2	発電事業者住所:			兵	庫県加	1古川市平岡町	丁二俣249-1	
	氏名:	株式	弋会社二月	川工業製	!作所	代表取締役	二川昌也	(ため池に設置)
	※ 法人その他の団体にあっては	、主た	る事務所の	所在地、	その名	称及び代表者の	の氏名	
3	再生可能エネルギー発電事業計	画の認定	已設備ID:			A	1929688E28	
4	設置工事:	中 🔲 🤊	未着手					
5	事業区域の面積(発電出力):	2	22,800 平方	メートル	( [	500 <b>kW</b> )		
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、	( )	内に日付	を記入し	てくだ	さい。		
	A 太陽光発電施設等と地域環境	との調和	ロに関する	条例第7	条第 1	項の届出あり		
	(届出 西暦	年	月		日)	)		
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例第7条第1項の届出なし							
	(設置工事着手 西暦 20	16 年	9 月	1	日)	)		
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 20	17 年	1月	20	日)	)		

			基準への適合状況等(※2)		
	耳	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。	
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合		
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合		
安定性	(3) 擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合		
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合		
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合		

排-	(6)排水 施設 の能 力	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置 不適地	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
		急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 土砂災害 警戒区域 (Y区域)	事業区域内にY区域が含まれているか。 事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	該当なし	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	該当なし	盛土造成面積: m <sup>2</sup> (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	該当なし	斜面の最大勾配: 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	該当なし	
変状	沈下・隆起があるか。	該当なし	
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし	
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。	該当なし	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	該当なし	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし	
については ※4 (1)~(3) いて「有」の:	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6) 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択(同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の	変状に関 する総合 評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業区域の所在地:		兵庫	<b>県加西市田原</b> 町	丁字カシマガ池	1338
2	発電事業者住所:		兵	庫県神戸市中	央区江戸町93都	
	氏名:	株式会社ノー	ーリツ	代表取締役	國井総一郎	(ため池に設置)
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務所の原	所在地、	その名称及び代	表者の氏名	
3	再生可能エネルギー発電事業計画	の認定設備ID:			AZ98281E2	8
4	設置工事: 完了 工事中	○未着手	_			
5	事業区域の面積(発電出力):	6,196 平方2	メートル	(499.0 kW)		
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、(	)内に日付を	記入し	てください。		
	A 太陽光発電施設等と地域環境と	の調和に関する条	€例第7	条第1項の届出	あり	
	(届出 西暦	年 月		日)		
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境と	 の調和に関する条		条第1項の届出	なし	
	(設置工事着手 西暦 未定	年 未定 月	未定	日)		
7	発電開始日: 西暦	年月月		日)		

			基準への適合状況等(※2)		
=	耳	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。	
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。			
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。			
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。			
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。			
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。			
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。			

排	施設	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。		
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。		
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。		
設置	浩	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。		
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。		
		災害危険区域が含まれていないか。		
(9)	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。		
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。		
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。		
			総合評価	

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)			
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無				
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)			
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。		盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)			
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。		斜面の最大勾配: 度 (斜面に工作物を設置している場合)			
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。					
変状	沈下・隆起があるか。					
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。					
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。					
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。					
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。					
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。					
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。					
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価				

防災上の措置に関する基準への適合状況

(5)のり

面保 護

いるか。

整理番号

### 防災上の措置に関する基準への適合状況等の自己点検票(公表用)

1	事業区域の所在地:	兵庫県加西市田原町字宮ノ谷3180					
2	発電事業者住所:	兵庫県神戸市中央区江戸町93番					
	氏名:	株式会社ノーリツ	代表取締役	國井総一郎	(ため池に設置)		
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務所の所在地、	その名称及び代	式表者の氏名			
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	D認定設備ID:	AA74498E28				
4	設置工事: 完了 工事中	未着手					
5	事業区域の面積(発電出力):	22, 156 平方メートル	(1,999.0  kW)				
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、(	)内に日付を記入し	てください。				
$\bigcirc$	A 太陽光発電施設等と地域環境と(	の調和に関する条例第7	条第1項の届出	あり			
	(届出 西暦 2021	年 2月 1	日)				
	B 太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例第7条第1項の届出なし						
	(設置工事着手 西暦	年 月	日)				
7	発電開始日: 西暦	年 月	日)				

適合・ 事 項 防災上の措置に関する基準(※1) <u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> 不適合 自己評価等を記入ください。 • 不 明 (1) 地盤 工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であ るか。または、30度を超える場合、地盤調査等に  $\mathcal{O}$ 適合 より、その安定が確認できるか。 勾配 切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じ た場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。 (2) 擁壁 または、覆われていない場合、勾配、地質、土質  $\mathcal{O}$ 適合 及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺 地 設置 の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がな 盤 いか。  $\mathcal{O}$ 安 安定計算等により、その安定性が確かめられたも 適合 定 (3) 擁壁 のであるか。 性  $\mathcal{O}$ 当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 0 構造 適合 確 び透水層が設けられているか。 保 (4)のり 切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 面の 適合 適切に行われているか。 構造

適合

事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われて

基準への適合状況等(※2)

排		事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無	
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配: 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。		
変状	沈下・隆起があるか。		
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。		
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。		
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。		
(6)経年によ	ガリ浸食跡があるか。		
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。		
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。		
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u> 。	変状に関 する総合 評価	

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業区域の所在地:	兵庫県加西市田原町字瀬広217-1					
2	2 発電事業者住所: 兵			兵	庫県神戸市	方中央区江戸町	「93番
	氏名:		杉	未式会社	:ノーリツ	代表取締役	國井総一郎
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務	折の	所在地、	その名称及	び代表者の氏名	
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	D認定設備II	) :			AZ999	54E28
4	設置工事: 完了 工事中	○未着手		·			
5	事業区域の面積(発電出力):	5, 470	平方	メートル	(450.0	kW)	
6	A、BのいずれかにOを入れ、(	)内に日	付初	を記入し	てください。		
	A 太陽光発電施設等と地域環境と	の調和に関す	しる	条例第7	条第1項の	<b>雷出あり</b>	
	(届出 西暦	年	月		日)		
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境と	の調和に関す	<b>├る</b> :		条第1項の	<b>冨出なし</b>	
	(設置工事着手 西暦 未定	年 未定	月	未定	日)		
7	発電開始日: 西暦	年	月		日)		

			基準への適合状況等(※2)	
=	耳	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。		
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。		
安定性	構造	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。		
の確		当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。		
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。		

排	施設	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。		
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。		
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。		
設置	浩	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。		
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。		
		災害危険区域が含まれていないか。		
(9)	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。		
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。		
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。		
			総合評価	

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)	
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無		
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)	
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。		盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)	
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。		斜面の最大勾配: 度 (斜面に工作物を設置している場合)	
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。			
変状	沈下・隆起があるか。			
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。			
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。			
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。			
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。			
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。			
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。			
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価		

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業区域の所在地:	兵庫県加西市田原町字西垣内5-1					
2	発電事業者住所:	兵	兵庫県神戸市中央区江戸町93番				
	氏名:	株式会社ノーリツ	代表取締役	國井総一郎	(ため池に設置)		
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務所の所在地、	その名称及び代	式表者の氏名			
3	再生可能エネルギー発電事業計画	の認定設備ID:	AZ98280E28				
4	設置工事: 完了 工事中	○未着手					
5	事業区域の面積(発電出力):	4,618 平方メートル	(450.0  kW)				
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、(	)内に日付を記入し	てください。				
	A 太陽光発電施設等と地域環境と	の調和に関する条例第7	条第1項の届出	あり			
	(届出 西暦	年 月	日)				
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例第7条第1項の届出なし						
	(設置工事着手 西暦 未定	年 未定 月 未定	日)				
7	発電開始日: 西暦	年 月	日)				

			基準への適合状況等(※2)	
=	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。		
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。		
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。		
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。		
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。		

排	施設	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。		
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。		
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。		
設置	浩	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。		
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。		
		災害危険区域が含まれていないか。		
(9)	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。		
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。		
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。		
			総合評価	

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)	
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無		
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)	
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。		盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)	
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。		斜面の最大勾配: 度 (斜面に工作物を設置している場合)	
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。			
変状	沈下・隆起があるか。			
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。			
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。			
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。			
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。			
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。			
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。			
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価		

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業区域の所在地:	兵庫県加西市田原町字八寸山2324-1 他			
2	発電事業者住所:	発電事業者住所: 東京都中央区銀座2丁目4番9号			
	氏名:	BLD Power Stations株式会	会社 代表取締役 髙杢康成		
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務所の所在地、その名称及び	代表者の氏名		
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	D認定設備ID:	A799342E28		
4	設置工事: 完了 工事中	<b>一</b> 未着手			
5	事業区域の面積(発電出力):	63, 532 平方メートル( 1, 980 kW	)		
6	A、BのいずれかにOを入れ、(	)内に日付を記入してください。			
	A 太陽光発電施設等と地域環境と	の調 <u>和に関する条例第7</u> 条第1項の届出	出あり		
	(届出 西暦	年 月 日)			
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例第7条第1項の届出なし				
	(設置工事着手 西暦 2016	年 8月 22 日)			
7	発電開始日: 西暦 2017	年 3月 31 日)			

			基準への適合状況等 (※2)	
=	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合	
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合	
安定性	構造	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合	
の確		当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合	
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合	
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合	

	設 置不適地	地すべり防止区域が含まれていないか。 急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。 土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
設の	施設の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
排	(6)排水 施設 の能 力	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)		
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無			
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)		
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	有	盛土造成面積: 約5000 ㎡ (盛土造成がある場合)		
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	有	斜面の最大勾配: 25 度 (斜面に工作物を設置している場合)		
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無			
<u>る</u> 地盤の 変状	沈下・隆起があるか。	無			
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし			
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし			
( <b>※</b> 3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし			
(6) 経年によ	ガリ浸食跡があるか。	有	対策が必要		
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	無			
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	無			
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u> 。	変状に関 する総合 評価	対策が必要		

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

### 防災上の措置に関する基準への適合状況等の自己点検票(公表用)

1	事業区域の所在地:		兵庫県加西市都染町子松月	<u> </u>		
2	発電事業者住所:	東京都千代	<b>ド田区紀尾井町4-1ニューオータニ</b>	ー :カ゛ーテ゛ンコート14F		
	<b>氏名</b> : ※ 法人その他の団体にあっては、		会社代表取締役社長執行役員 、その名称及び代表者の氏名	中村徳晴(ため池に設置)		
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	)認定設備ID:	AZ9999	55E28		
4	設置工事: 完了 工事中	未着手				
5	事業区域の面積(発電出力):	13,491 平方メートル	( 1, 120 kW)			
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、( )内に日付を記入してください。					
$\bigcirc$	A 太陽光発電施設等と地域環境と0	)調和に関する条例第7	2条第1項の届出あり			
	(届出 西暦 2019	年 7月 26	日)			
	B 太陽光発電施設等と地域環境との	 )調和に関する条例第7	- ' 条第 1 項の届出なし			
	(設置工事着手 西暦	年 月	目)			
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 2020	年 4月 1	目)			

基準への適合状況等(※2) 適合・ 事 項 防災上の措置に関する基準(※1) <u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> 不適合 自己評価等を記入ください。 • 不 明 (1) 地盤 工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であ るか。または、30度を超える場合、地盤調査等に  $\mathcal{O}$ 適合 より、その安定が確認できるか。 勾配 切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じ た場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。 (2) 擁壁 または、覆われていない場合、勾配、地質、土質  $\mathcal{O}$ 適合 及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺 地 設置 の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がな 盤 いか。  $\mathcal{O}$ 安 安定計算等により、その安定性が確かめられたも 適合 定 (3) 擁壁 のであるか。 性  $\mathcal{O}$ 当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 0 構造 適合 確 び透水層が設けられているか。 保 (4)のり 切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 面の 適合 適切に行われているか。 構造 (5)のり 事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食さ れないよう植生工等によるのり面保護が行われて 適合 面保 護 いるか。

排		事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)		
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無			
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)		
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)		
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配:		
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無			
変状	沈下・隆起があるか。	無			
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし			
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし			
( <b>※</b> 3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし			
(6) 経年によ	ガリ浸食跡があるか。	該当なし			
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	該当なし			
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし			
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし		

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号
334

1	事業区域の所在地:	兵」	庫県加西市都染町字平松924-4他	
2	発電事業者住所:	東京都千代田区紀尾井町4-1ニューオータニガーデンコート14F		
	氏名:	リコーリース株式	会社 代表取締役社長執行役員中村徳晴(ため池に設置)	)
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務所の所在地	、その名称及び代表者の氏名	
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	D認定設備ID:	AZ99953E28	
4	設置工事: 完了 工事中	未着手		
5	事業区域の面積(発電出力):	12,070 平方メートル	( 1,080 kW)	
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、(	)内に日付を記入し	してください。	
$\bigcirc$	A 太陽光発電施設等と地域環境と0	の調和に関する条例第7	7条第1項の届出あり	
	(届出 西暦 2019	年 6月 14	4 日)	
	B 太陽光発電施設等と地域環境と0	の調和に関する条例第7	7条第1項の届出なし	
	(設置工事着手 西暦	年 月	日)	
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 2019	年 11月 20	日)	

			基準への適合状況等 (※2)	
=	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合	
地盤の安定性	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合	
	構造	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合	
の確		当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合	
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合	
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合	

排		事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)		
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無			
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)		
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)		
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配:		
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無			
変状	沈下・隆起があるか。	無			
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし			
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし			
( <b>※</b> 3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし			
(6) 経年によ	ガリ浸食跡があるか。	該当なし			
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	該当なし			
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし			
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし		

整理番号

1	事業区域の所在地:	兵庫県加西市嶋町字桂ラ谷312-12			
2	発電事業者住所:	仙台市青葉区本町1-13-22 仙台松村ビル8F			
	<b>氏名</b> : ※ 法人その他の団体にあっては、	日神建設株式会社 主たる事務所の所在地、その名称及び代表者の氏名			
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	A815570E28			
4 5	設置工事: ○完了 工事中 事業区域の面積(発電出力):	未着手 23,316 平方メートル ( 2,000 kW)			
6	A 太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例第7条第1項の届出あり				
$\bigcirc$		年 日) D調和に関する条例第7条第1項の届出なし			
7	(設置工事着手 西暦 2014				
7 8	発電開始日:     西暦     2015       防災上の措置に関する基準への適合				

			基準への適合状況等 (※2)	
=	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合	
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合	
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合	擁壁なし
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合	擁壁なし
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合	
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合	

排	(6)排水 施設 の能 力	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置 不適地	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
		急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)		
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無			
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)		
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	有	盛土造成面積: 2,100 m² (盛土造成がある場合)		
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	有	斜面の最大勾配: 29 度 (斜面に工作物を設置している場合)		
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無			
変状	沈下・隆起があるか。	無			
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし			
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし			
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし			
(6)経年によ	ガリ浸食跡があるか。	有	支障なし		
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	有	支障なし		
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし			
については、 ※4 (1)~(3) ( いて「有」の	こついて該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6) 擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 こついて「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 沢( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし		

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号
336

1	事業区域の所在地:		重県加西市畑町字松尾谷1783-1				
2	発電事業者住所:			東京都港区虎ノ門1-2-8			
	氏名:	日本再	手生可能	能エネルギーオペレーター合同会社			
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務所の所	在地、-	その名称及び代表者の氏名			
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	)認定設備ID:		A698989E28			
4	設置工事: 完了 工事中	未着手					
5	事業区域の面積(発電出力):	22,018 平方メー	-トル(	( 1,990 kW)			
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、(	)内に日付を訓	己入して	てください。			
$\bigcirc$	A 太陽光発電施設等と地域環境と0	D調和に関する条例	列第7条	条第1項の届出あり			
	(届出 西暦 2018	年 2 月	14	日)			
	B 太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例第7条第1項の届出なし						
	(設置工事着手 西暦	年 月		日)			
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 2018	年 11月	30	日)			

				基準への適合状況等 (※2)	
=	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)		<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。	
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合		
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合		
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合		
の 確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合		
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合		

排:	(6)排水 施設 の能 力	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
(9)	設 置不適地	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
		急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1)土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無	
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	有	民家の戸数: 0 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	有	盛土造成面積: 約10000 m² (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	有	斜面の最大勾配: 10 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無	
変状	沈下・隆起があるか。	無	
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	無	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	無	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	無	
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。	無	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	無	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	無	
については ※4 (1)~(3) いて「有」の:	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6) 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択(同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の	変状に関する総合評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業区域の所在地:	兵庫県加西市繁昌町213-2				
2	発電事業者住所:		兵庫県如	5路市亀山231-2		
	氏名:		株式会社山陽	代表取締役金城裕満		
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務所の所存	E地、その名称及	び代表者の氏名		
3	再生可能エネルギー発電事業計画	の認定設備ID:		A703110E28		
4	設置工事:	未着手				
5	事業区域の面積(発電出力):	14,140 平方メー	トル ( 750	kW)		
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、(	)内に日付を記	入してください。			
	A 太陽光発電施設等と地域環境と	の調和に関する条例	第7条第1項の	届出あり		
	(届出 西暦	年 月	目)			
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境と	の調和に関する条例	第7条第1項の	届出なし		
	(設置工事着手 西暦 2012	2 年 3 月	1 日)			
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 2013	3 年 1 月	25 日)			

				基準への適合状況等 (※2)
=	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合	
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合	
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合	
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合	
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合	
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合	

排		事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)			
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無				
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)			
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)			
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配:			
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無				
変状	沈下・隆起があるか。	無				
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし				
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし				
( <b>※</b> 3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし				
(6) 経年によ	ガリ浸食跡があるか。	該当なし				
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	該当なし				
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし				
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし			

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号
338

1	事業区域の所在地:		兵庫県加西市繁昌町字上田東甲2734-7							
2	発電事業者住所:		兵庫県多可郡多可町中区坂本147							
	氏名:	服部ラ	服部テキスタイル株式会社 代表取締役 服部茂和							
	※ 法人その他の団体にあって	は、主たる事務所の原	「在地、その名称及び代表	者の氏名						
3	再生可能エネルギー発電事業計	画の認定設備ID:		A830554E28						
4	設置工事: □ 完了 □ 工事	事中								
5	事業区域の面積 (発電出力): 9,530 平方メートル ( 750 kW)									
6	A、BのいずれかにOを入れ、	( )内に日付を	記入してください。							
	A 太陽光発電施設等と地域環境	さの調和に関する条	例第7条第1項の届出あ	<u> ப</u>						
	(届出 西暦	年 月	目)							
$\bigcirc$	 │ B 太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例第7条第1項の届出なし									
	(設置工事着手 西暦 2	015 年 1 月	1 目)							
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 2	015年 12月	25 日)							

			基準への適合状況等 (※2)		
=	事 項	項 防災上の措置に関する基準 (※1)		<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。	
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合		
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合		
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合		
の 確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及び透水層が設けられているか。	適合		
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合		

排		事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	以 下 下 上	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
		急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)						
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無							
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)						
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)						
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配:						
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無							
変状	沈下・隆起があるか。	無							
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし							
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし							
( <b>※</b> 3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし							
(6) 経年によ	ガリ浸食跡があるか。	該当なし							
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	該当なし							
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし							
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし						

整理番号
339

## 防災上の措置に関する基準への適合状況等の自己点検票(公表用)

1	事業凶域の所在地:	/	川四市繁昌町甲1475-1					
2	発電事業者住所: 神戸市中央区御幸通6-1-20							
	氏名:	株式会社	Qvou 代表取締役	久保龍太郎				
	※ 法人その他の団体にあっ	ては、主たる事務所の所在地、	その名称及び代表者の氏名					
3	再生可能エネルギー発電事業	業計画の認定設備ID:	AZ9928	34E28				
4	設置工事: 完了	工事中 八未着手						
5	事業区域の面積(発電出力):	: 4,670 平方メートル	( <u>300.0</u> kW)					
6	A、Bのいずれかに〇を入れ	れ、( )内に日付を記入し	てください。					
	A 太陽光発電施設等と地域	環境との調和に関する条例第7	条第1項の届出あり					
	(届出 西暦	年 月	日)					
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域	環境との調和に関する条例第7	条第1項の届出なし					
	(設置工事着手 西暦	未定 年   月	日)					
7	発電開始日: 西暦	年 月	日)					

8 防災上の措置に関する基準への適合状況

				基準への適合状況等 (※2)
Ę	耳	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。		
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。		
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。		
の 確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。		
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。		

排-	(6)排水 施設 の能 力	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。		
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。		
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。		
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。		
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。		
		災害危険区域が含まれていないか。		
(9)	設 置 不適地	地すべり防止区域が含まれていないか。		
		急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。		
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。		
			総合評価	

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

:>>	言放区域、地盤の変体等の依然		
事項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無	
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。		盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。		斜面の最大勾配: <b>歴</b> 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。		
変状	沈下・隆起があるか。		
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。		
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。		
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。		
(6)経年によ	ガリ浸食跡があるか。		
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。		
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。		
については、 ※4 (1)~(3) いて「有」の:	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6) ,擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業区域の所在地:		兵庫県加西市繁昌町字北谷甲2752-8					
2	発電事業者住所:		兵庫り	<b>県姫路市広</b>	畑区吾妻町2つ	「目220	D4	
氏名: 株式会社石本建設 代表取締								明久
	※ 法人その他の団体にあっては	、主た	る事務所の	所在地、	その名称及	び代表者の氏名	1	
3	再生可能エネルギー発電事業計	圓の認定	≧設備ID:			AZ995	31E28	
4	設置工事: 完了 工事	中 🔲 🤊	未着手	-				
5	事業区域の面積(発電出力):	2	23,413 平方	メートル	( 1,000	kW)		
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、	( )	内に日付る	を記入し	てください。			
$\bigcirc$	A 太陽光発電施設等と地域環境	上の調和	口に関する釒	条例第7	条第1項の	届出あり		
	(届出 西暦 2018年 5月 9 日)							
	B 太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例第7条第1項の届出なし							
	(設置工事着手 西暦	年	月		日)			
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 20	21 年	6 月	4	日)			

			基準への適合状況等(※2)		
=	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)		<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。	
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合		
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合		
安定性	(3) 擁壁 のであるか		適合	対象外(勾配30度以下)	
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合	対象外(勾配30度以下)	
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合		

排-	施設	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	対象外(1ha未満の開発、かつハザード マップの浸水地域ではない)
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 土砂災害 警戒区域 (Y区域)	事業区域内にY区域が含まれているか。 事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	有	盛土造成面積: 1,035 m² (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	有	斜面の最大勾配: 30 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無	
変状	沈下・隆起があるか。	無	
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし	
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。	無	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	無	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし	
については、 ※4 (1)~(3) いて「有」の:	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6) 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号
341

1	事業区域の所在地:	兵庫県加西市繁昌町	平池尻乙183番地	太陽エコブ	ロックス兵庫第二	発電所		
2	発電事業者住所:	大阪府	大阪府大阪市福島区吉野4丁目22番9号					
	氏名:	太陽サース	ブ株式会社 代	表取締役	石井克侑			
	※ 法人その他の団体にあって	は、主たる事務所の所在地、	その名称及び代表	者の氏名				
3	再生可能エネルギー発電事業記	十画の認定設備ID:		A663729E	28			
4	設置工事: 完了 工	事中 未着手						
5	事業区域の面積(発電出力):	18,300 平方メートル	$(\boxed{1,500}$ kW)					
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、	()内に日付を記入し	てください。					
	A 太陽光発電施設等と地域環境	竟との調和に関する条例第7	条第1項の届出あり					
	(届出 西暦	年 月	日)					
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境	 竟との調和に関する条例第7	条第1項の届出なし	•				
	(設置工事着手 西暦 2	2012 年 6 月 1	日)					
7	発電開始日: 西暦 2	2012年 8月 22	日)					

			基準への適合状況等(※2)	
事 項		防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。
地盤の	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合	勾配0.57≦30°により
	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合	補強土擁壁で覆っている。
安定性	(3)擁壁 の 構造	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合	安全計算で確認している。
の確		当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合	透水層を設けている。
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合	当該箇所は補強擁壁および透水層を設けている。
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合	人工芝を敷いており雨水浸食はない。

排-	(6)排水 施設 の能 力	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。		架台部分には排水溝を設けている。 また、その排水は調整池に流れるようにコンクリート製溝を施している。
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	排水溝下は強固な地盤としている。
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	維持管理は容易。
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	コンクリート製の溝と調整池を設置。
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	調整池が設置されている。
	設 置 不適地	災害危険区域が含まれていないか。	適合	兵庫県ハザードマップに該当なし
(9)		地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	兵庫県ハザードマップに該当なし
		急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	兵庫県ハザードマップに該当なし
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	兵庫県ハザードマップに該当なし
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事項	内容	有・無 ・該当なし	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 1.75((() 中	事業区域内にY区域が含まれているか。	( <b>※</b> 3)	(文陣なし・安柱迥観祭・刈泉が必安)
(1) 土砂災害 警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m <sup>2</sup> (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配: 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無	
変状	沈下・隆起があるか。	無	
(5)経年によ	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	無	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	無	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	無	
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。	無	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	無	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	無	
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6) 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択(同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の	変状に関する総合評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業凶域の所在地:		加西市尾崎町平川444-1				
2	発電事業者住所:	л	加古川市加古川町篠原町213-5				
	氏名:	有限会社	ブロッサム 代表取締役	日坂明広			
	※ 法人その他の団体にあってに	は、主たる事務所の所在地、	その名称及び代表者の氏名				
3	再生可能エネルギー発電事業計	·画の認定設備ID:	A89742	1E28			
4	設置工事: 完了 工事	事中未着手					
5	事業区域の面積(発電出力):	7,992 平方メートル	(499 kW)				
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、	( )内に日付を記入し	てください。				
	A 太陽光発電施設等と地域環境	はとの調和に関する条例第7	条第1項の届出あり				
	(届出 西暦	年 月 月	日)				
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境	ことの調和に関する条例第7	条第1項の届出なし				
	(設置工事着手 西暦 20	015 年 8 月 1	日)				
7	発電開始日: 西暦 20	016年 2月 26	目)				

		防災上の措置に関する基準(※1)	基準への適合状況等 (※2)		
=	事 項		適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。	
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合		
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合		
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合		
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合		
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合		

排	施設	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	開発面積、調整池は必要としていません
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事項	内容	有・無 ・該当なし	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 1.75((() 中	事業区域内にY区域が含まれているか。	( <b>※</b> 3)	(文陣なし・安柱迥観祭・刈泉が必安)
(1) 土砂災害 警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m <sup>2</sup> (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配: 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無	
変状	沈下・隆起があるか。	無	
(5)経年によ	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	無	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	無	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	無	
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。	無	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	無	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	無	
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6) 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択(同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の	変状に関する総合評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業区域の所在地:		加西巾尾崎町平野28	-1		
2	発電事業者住所:	有限金	有限会社ブロッサム代表取締役日坂明広			
	氏名:		日坂明広			
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務所の所在地	、その名称及び代表者の氏症	名		
3	再生可能エネルギー発電事業計画	の認定設備ID:	A799	241E28		
4	設置工事: 完了 工事中	未着手				
5	事業区域の面積(発電出力):	9, 989 平方メートル	( 1,000 kW)			
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、(	)内に日付を記入し	してください。			
	A 太陽光発電施設等と地域環境と	の調和に関する条例第	7条第1項の届出あり			
	(届出 西暦	年 月	日)			
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境と	の調和に関する条例第	- 7 条第 1 項の届出なし			
	(設置工事着手 西暦 201	4 年 4 月 7	7 日)			
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 201	4年 9月 24	目 目)			

		防災上の措置に関する基準(※1)	基準への適合状況等 (※2)	
=	事 項		適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。
地盤の	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合	
	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合	
安定性	(3) 擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合	
住の確保	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合	
	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合	
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合	

	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。 土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
(9)	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
排水施設の設置	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	開発面積基準により調整池はありません
	- 浩	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(7)排水 施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
		堅固で耐久性を有するものか。	適合	
	(6)排水 施設 の能 力	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

11 1111						
事項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)			
(1)土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無				
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)			
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)			
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配: 度 (斜面に工作物を設置している場合)			
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無				
変状	沈下・隆起があるか。	無				
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	無				
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	無				
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	無				
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。	無				
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	無				
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	無				
<ul> <li>※3 (1)~(6)について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)については、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。</li> <li>※4 (1)~(3)について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)について「有」の場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のいずれかを選択(同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の方法」参照)。</li> </ul>			支障なし			

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号
344

### 防災上の措置に関する基準への適合状況等の自己点検票(公表用)

1	事業区域の所在地:		加四市別所町子万坂559-1	
2	発電事業者住所:	東京都中央	中区京橋3-12-7 水田湖二株式会社	
	氏名:	代表取締役ステル	ルフェルド・レミ・タケユキ(ため池に設置)	
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務所の所在地、	、その名称及び代表者の氏名	
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	)認定設備ID:	A958525E28	
4	設置工事: 完了 工事中	未着手		
5	事業区域の面積(発電出力):	11,108 平方メートル	( 540 kW)	
6	A、BのいずれかにOを入れ、(	)内に日付を記入し	してください。	
$\bigcirc$	A 太陽光発電施設等と地域環境と0	)調 <u>和に関する条例第</u> 7	7条第1項の届出あり	
	(届出 西暦 2017	年 9 月 14	4 日)	
	B 太陽光発電施設等と地域環境と0	)調和に関する条例第7	ー 条第1項の届出なし	
	(設置工事着手 西暦	年 月 月	日)	
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 2018	年 1月 24	4 日)	

基準への適合状況等(※2) 適合・ 事 項 防災上の措置に関する基準(※1) <u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> 不適合 自己評価等を記入ください。 • 不 明 (1) 地盤 工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であ るか。または、30度を超える場合、地盤調査等に  $\mathcal{O}$ 適合 より、その安定が確認できるか。 勾配 切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じ た場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。 (2) 擁壁 または、覆われていない場合、勾配、地質、土質  $\mathcal{O}$ 適合 及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺 地 設置 の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がな 盤 いか。  $\mathcal{O}$ 安 安定計算等により、その安定性が確かめられたも 適合 定 (3) 擁壁 のであるか。 性  $\mathcal{O}$ 当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 0 構造 適合 確 び透水層が設けられているか。 保 (4)のり 切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 面の 適合 適切に行われているか。 構造 (5)のり 事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食さ れないよう植生工等によるのり面保護が行われて 適合 面保 護 いるか。

排	(6)排水 施設 の能 力	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	対象無し
	設 置 不適地	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	対象無し
		急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	対象無し
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	対象無し
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

		<del>_</del>	
事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	該当なし	
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	該当なし	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	該当なし	盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	該当なし	斜面の最大勾配:
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	該当なし	
変状	沈下・隆起があるか。	該当なし	
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし	
(6)経年によ	ガリ浸食跡があるか。	該当なし	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	該当なし	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし	
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業区域の所在地: 兵庫県加西市豊倉町字下ナ垣内581-2					内581-2	
2	発電事業者住所:		兵庫県如	5路市北条951-	1		
	氏名:		美樹工業村	朱式会社	代表取締役	岡田 尚一郎	
	※ 法人その他の団体にあって	は、主たる事務所	所の所在地、	その名称及	び代表者の氏名		
3	再生可能エネルギー発電事業記	画の認定設備ID	·:		A709	9490E28	
4	設置工事: 完了 工	事中未着手					
5	事業区域の面積(発電出力):	22,606	平方メートル	( 1,990	kW)		
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、	( )内に日	付を記入し	てください。	<b>o</b>		
	A 太陽光発電施設等と地域環境	竟との調和に関す	る条例第7	条第1項の	届出あり		
	(届出 西暦	年	月	日)			
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例第7条第1項の届出なし						
	(設置工事着手 西暦 2	013 年 2	月 25	目)			
7	発電開始日: 西暦 2	013 年 6	月 11	日)			

			基準への適合状況等 (※2)		
Į.	耳	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。	
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合		
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合		
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合		
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合		
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合		

排		事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

		T .	1
事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無	
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配:
(4) <u>経年によ</u> <u>る</u> 地盤の	クラック、亀裂があるか。	無	
変状	沈下・隆起があるか。	無	
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	無	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	無	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	無	
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。	該当なし	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	該当なし	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし	
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u> 。	変状に関 する総合 評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号
346

1	事業凶域の所在地:	—	兵庫県加四市豊倉町子下二区田858-1				
2	発電事業者住所:		兵庫県如	臣路市北条951-	1		
	氏名:	美樹工業	<b></b>	代表取締役	岡田 尚一郎		
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務所の所在は	也、その名称及	及び代表者の氏名			
3	再生可能エネルギー発電事業計画	「の認定設備ID:		A709	9491E28		
4	設置工事: □ 完了 □ 工事中	中 未着手	_				
5	事業区域の面積(発電出力):	16,473 平方メート	1,500	kW)			
6	A、BのいずれかにOを入れ、	)内に日付を記入	してください	0			
	A 太陽光発電施設等と地域環境と	:の調和に関する条例第	7条第1項の	届出あり			
	(届出 西暦	年 月	日)				
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境と	 :の調和に関する条例第	━ 7条第1項の	届出なし			
	(設置工事着手 西暦 201	3年 2月 2	25 目)				
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 201	3年6月	.1 日)				

				基準への適合状況等 (※2)
=	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合	
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合	
安定性	(3) 擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合	
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及び透水層が設けられているか。	適合	
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合	
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合	

排		事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

		T .	1
事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無	
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配:
(4) <u>経年によ</u> <u>る</u> 地盤の	クラック、亀裂があるか。	無	
変状	沈下・隆起があるか。	無	
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	無	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	無	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	無	
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。	該当なし	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	該当なし	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし	
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u> 。	変状に関 する総合 評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号 347

1 事業区域の所在地: 兵庫県加西市豊倉町字山之谷1261-6				6				
2	2 発電事業者住所:				姫路市青	山三丁目10番7	7号	
	氏名:		~	マルイチ	株式会社	代表取締役	前田	正弘
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務	所の	所在地、	その名称及	び代表者の氏名	1	
3	再生可能エネルギー発電事業計画	の認定設備	ID:			AZ991	92E28	
4	設置工事: 完了 工事中	未着手						
5	事業区域の面積(発電出力):	6, 200	平方	メートル	( 500	kW)		
6	A、BのいずれかにOを入れ、(	)内に	日付	を記入し	てください。			
$\bigcirc$	A 太陽光発電施設等と地域環境と	の調和に関	する	条例第7	条第1項の原	届出あり		
	(届出 西暦 201	3 年 4	月	13	日)			
	B 太陽光発電施設等と地域環境と	の調和に関	する	条例第7	条第1項の原	届出なし		
	(設置工事着手 西暦	年	月		日)			
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 2013	8 年 9	月	10	日)			

			基準への適合状況等 (※2)		
=	項 項	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合· 不適合 · 不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。	
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合		
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合		
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合		
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合		
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合		

排-		事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1)土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無	
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配: 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無	
変状	沈下・隆起があるか。	無	
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	無	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	無	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	無	
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。	無	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	無	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	無	
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業区域の所在地:	戶	(庫県加西市北美	条町栗田字小泉474	外
2	発電事業者住所:		株式	式会社M&Y	
	氏名:		代表取約	帝役 小田 正芳	
	※ 法人その他の団体にあって	は、主たる事務所の原	所在地、その名称	及び代表者の氏名	
3	再生可能エネルギー発電事業計	·画の認定設備ID:		A89629E28	
4	設置工事: ○完了 工事	事中  未着手			
5	事業区域の面積(発電出力):	30,799 平方メ	- トル ( 1,990	kW)	
6	A、BのいずれかにOを入れ、	()内に日付を	記入してください	<b>\</b> o	
	A 太陽光発電施設等と地域環境	をの調和に関する条	:例第7条第1項 <i>0</i>	の届出あり	
	(届出 西暦	年 月	日)		
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境	 きとの調和に関する条	 :例第7条第1項 <i>0</i>	D届出なし	
	(設置工事着手 西暦 2	015年 3月	24 日)		
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 2	016年 3月	4 日)		

			基準への適合状況等(※2)		
ᄪ	項	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。	
地盤の	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合		
	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合		
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合	当該施設に擁壁は無し	
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合	当該施設に擁壁は無し	
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合		

排-	(6)排水 施設 の能 力	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	水量計算の上沈砂池で対応
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

	2.1.2.2					
事項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)			
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無				
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)			
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	有	盛土造成面積: 約6600 ㎡ (盛土造成がある場合)			
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	有	斜面の最大勾配: 30 度 (斜面に工作物を設置している場合)			
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無				
変状	沈下・隆起があるか。	無				
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし				
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし				
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし				
(6)経年によ	ガリ浸食跡があるか。	無				
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	無				
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし				
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし			

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業区域の所在地:	Þ	(庫県加西	i市北条町	丁栗田字小泉517 外	
2	発電事業者住所:		í	合同会社	エスソーラー	
	氏名:		代	表社員	成田 東根夫	
	※ 法人その他の団体にあって	は、主たる事務所の所	行在地、その	の名称及び	が代表者の氏名	
3	再生可能エネルギー発電事業	計画の認定設備ID:			A815824E28	
4	設置工事: 完了 工工	事中 未着手				
5	事業区域の面積(発電出力):	17,080 平方メ	ートル(	1,000 k	W)	
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、	()内に日付を	記入してく	ださい。		
	A 太陽光発電施設等と地域環	境との調和に関する条	例第7条第	第1項の届	出あり	
	(届出 西暦	年 月		日)		
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環	 境との調和に関する条	 例第7条第	第1項の届	出なし	
	(設置工事着手 西暦	2015 年 3 月	24	日)		
7	発電開始日: 西暦	2015 年 10 月	15	日)		

			基準への適合状況等(※2)		
=	耳	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。	
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合		
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合		
安定性	(3) 擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合	当該施設に擁壁は無し	
の確		当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合	当該施設に擁壁は無し	
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合		

排-	(6)排水 施設 の能 力	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	水量計算の上沈砂池で対応
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

_			
事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無	
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	有	盛土造成面積: 約1860 ㎡ (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	有	斜面の最大勾配: 30 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無	
変状	沈下・隆起があるか。	無	
(5)経年によ	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし	
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。	無	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	無	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし	
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

(5)のり

護

面保

いるか。

整理番号
350

### 防災上の措置に関する基準への適合状況等の自己点検票(公表用)

1	事業区域の所在地:			兵庫.	県加西市和	C条町小谷子中溝164-1	
2	発電事業者住所:		兵庫県加西市北条町小谷414				
	氏名:		長田 賁				
※ 法人その他の団体にあっては、主たる事務所の所在地、その名称及び代表者の氏名							
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	D認定設備I[	) :			A969897E28	
4	設置工事:	未着手		_			
5	事業区域の面積(発電出力):	681	平方	メートル	( 39	kW)	
6	A、BのいずれかにOを入れ、(	)内に日	付	を記入し	てください。		
	A 太陽光発電施設等と地域環境と	の調和に関す	る:	条例第7	条第1項の	届出あり	
	(届出 西暦	年	月		日)		
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境と	<u></u>	├る:	 条例第 7	条第1項の	届出なし	
	(設置工事着手 西暦 2017	年 3	月	21	日)	※未着手の場合は着手予定日を記入	
7	発電開始日: 西暦 2017	年 5	月	20	日)		

適合・ 事 項 防災上の措置に関する基準(※1) <u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> 不適合 自己評価等を記入ください。 • 不 明 (1) 地盤 工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であ るか。または、30度を超える場合、地盤調査等に  $\mathcal{O}$ 適合 より、その安定が確認できるか。 勾配 切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じ た場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。 (2) 擁壁 または、覆われていない場合、勾配、地質、土質  $\mathcal{O}$ 適合 及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺 地 設置 の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がな 盤 いか。  $\mathcal{O}$ 安 安定計算等により、その安定性が確かめられたも 適合 定 (3) 擁壁 のであるか。 性  $\mathcal{O}$ 当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 0 構造 適合 確 び透水層が設けられているか。 保 (4)のり 切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 面の 適合 適切に行われているか。 構造

適合

事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食さ

れないよう植生工等によるのり面保護が行われて

基準への適合状況等(※2)

排		事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 土砂災害 警戒区域 (Y区域)	事業区域内にY区域が含まれているか。 事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	該当なし	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	該当なし	盛土造成面積: m <sup>2</sup> (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	該当なし	斜面の最大勾配: 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	該当なし	
変状	沈下・隆起があるか。	該当なし	
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし	
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。	該当なし	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	該当なし	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし	
については ※4 (1)~(3) いて「有」の:	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6) 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

### 防災上の措置に関する基準への適合状況等の自己点検票(公表用)

ı	争耒区域の所任地:	兵庫県加四市北	.余可 果局至	子四ン池1231	-27、1231-28、123	31-29、	1231-31、1231-32
2	発電事業者住所:		兵	庫県姫路市	i白浜町甲320-	-3	
	氏名:	株	式会社テ	ルミック	代表取締役	梶	正典
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務所の原	所在地、そ	の名称及び	代表者の氏名		
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	D認定設備ID:			A963116	E28	
4	設置工事: 完了 工事中	未着手					
5	事業区域の面積(発電出力):	7,742 平方2	4ートル(	800 kW	)		
6	A、BのいずれかにOを入れ、(	)内に日付を	記入して	ください。			
$\bigcirc$	A 太陽光発電施設等と地域環境と	の調和に関する条	例第7条	第1項の届と	出あり		
	(届出 西暦 2017	年 7月	10	日)			
	B 太陽光発電施設等と地域環境と	 の調和に関する条	<u></u> €例第7条	第1項の届と	出なし		
	(設置工事着手 西暦	年月月		日)			
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 2018	年 6月	25	日)			

基準への適合状況等(※2) 適合・ 事 項 防災上の措置に関する基準(※1) <u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> 不適合 自己評価等を記入ください。 • 不 明 (1) 地盤 工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であ るか。または、30度を超える場合、地盤調査等に  $\mathcal{O}$ 適合 より、その安定が確認できるか。 勾配 切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じ た場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。 (2) 擁壁 または、覆われていない場合、勾配、地質、土質  $\mathcal{O}$ 適合 及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺 地 設置 の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がな 盤 いか。  $\mathcal{O}$ 安 安定計算等により、その安定性が確かめられたも 適合 定 (3) 擁壁 のであるか。 性  $\mathcal{O}$ 当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 0 構造 適合 確 び透水層が設けられているか。 保 (4)のり 切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 面の 適合 適切に行われているか。 構造 (5)のり 事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食さ 面保 れないよう植生工等によるのり面保護が行われて 適合 護 いるか。

排		事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無	
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	有	斜面の最大勾配: 25 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> <u>る</u> 地盤の	クラック、亀裂があるか。	無	
変状	沈下・隆起があるか。	無	
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし	
(6)経年によ	ガリ浸食跡があるか。	該当なし	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	該当なし	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし	
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u> 。	変状に関 する総合 評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業区域の所在地:	兵庫県加西市北条町東高室字四ツ池909-1	
2	発電事業者住所:	千葉県千葉市中央区今井2-5-12	
	氏名:	株式会社HINA 代表取締役 久保智美	
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務所の所在地、その名称及び代表者の氏名	
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	D認定設備ID: AZ99217E28	
4	設置工事: 完了 工事中	未着手	
5	事業区域の面積(発電出力):	4,998 平方メートル ( 250 kW)	
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、(	)内に日付を記入してください。	
	A 太陽光発電施設等と地域環境と6	D調和に関する条例第7条第1項の届出あり	
	(届出 西暦	年 月 日)	
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境との	D調和に関する条例第7条第1項の届出なし	
	(設置工事着手 西暦 2021	年 6 月 24 日)	
7	発電開始日: 西暦	年 月 日)	

			基準への適合状況等 (※2)		
=	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。	
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合		
地盤の	0	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。 覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合		
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合		
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合		
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合		

排	(6)排水 施設 の能 力	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
(9)		地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無	
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	有	斜面の最大勾配: 25 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。		
変状	沈下・隆起があるか。		
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。		
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。		
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。		
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。		
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。		
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。		
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6) 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業区域の所在地:	兵庫県加西市満久町353番地1号			
2	発電事業者住所:	兵庫県加西市満久町454番地			
	氏名:	株式会社エクセル 代表取締役 高橋玉規			
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務所の所在地、その名称及び代表者の氏名			
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	D認定設備ID: A781464E28			
4	設置工事: 完了 工事中	未着手			
5	事業区域の面積(発電出力):	6,770 平方メートル ( 395 kW)			
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、(	)内に日付を記入してください。			
	A 太陽光発電施設等と地域環境と(	D調和に関する条例第7条第1項の届出あり			
	(届出 西暦	年 月 日)			
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境と	 D調和に関する条例第7条第1項の届出なし			
	(設置工事着手 西暦 2013	年 11 月 19 日)			
7	発電開始日: 西暦 2014	年 4月 1 日)			

			基準への適合状況等 (※2)		
=	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。	
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合		
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合		
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合		
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合		
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合		

排		事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

		有・無	自己評価、判断等(※4)
事項	内容	・該当なし (※3)	(支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1)土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無	
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m² m² (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	有	斜面の最大勾配: 25 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無	
変状	沈下・隆起があるか。	無	
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	無	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	無	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	無	
(6)経年によ	ガリ浸食跡があるか。	無	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	無	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	無	
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6) 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択(同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の	変状に関 する総合 評価	支障なし

整理番号 354

## 防災上の措置に関する基準への適合状況等の自己点検票(公表用)

1	事業区域の所在地:	兵庫県加西市満久町182-1
2	発電事業者住所:	東京都千代田区紀尾井町4-1ニューオータニガーデンコート14F
	<b>氏名</b> : ※ 法人その他の団体にあっては、	リコーリース株式会社 代表取締役社長執行役員中村徳晴(ため池に設置) 主たる事務所の所在地、その名称及び代表者の氏名
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	認定設備ID: AZ98240E28
4	設置工事: 完了 工事中	
5	事業区域の面積(発電出力):	7,439 平方メートル ( 499 kW)
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、(	)内に日付を記入してください。
$\bigcirc$	A 太陽光発電施設等と地域環境との	調和に関する条例第7条第1項の届出あり
	(届出 西暦 2019	年 12月 11 日)
	B 太陽光発電施設等と地域環境との	調和に関する条例第7条第1項の届出なし
	(設置工事着手 西暦	年 月 日)
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 2020	年 6 月 23 日)

8 防災上の措置に関する基準への適合状況

				基準への適合状況等 (※2)
	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。		
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合	
安定性	(3) 擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合	
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合	
保		切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合	
		事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合	

排		事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)			
(1) 土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無				
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)			
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)			
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配:			
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無				
変状	沈下・隆起があるか。	無				
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし				
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし				
( <b>※</b> 3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし				
(6) 経年によ	ガリ浸食跡があるか。	該当なし				
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	該当なし				
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし				
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし			

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号 356

1	事業区域の所在地:			兵區	事 果 川 西 巾	綱引町字丸田2001-8	
2	発電事業者住所:				東京都洋	巷区港南2-18-1	
	氏名:		;	株式会社	土ゼンショ	ー・クリーン・エナジー	
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務	折の	所在地、	その名称及	び代表者の氏名	
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	D認定設備I[	) :			A729679E28	
4	設置工事:	未着手		_			
5	事業区域の面積(発電出力):	356	平方	メートル	( 30	kW)	
6	A、BのいずれかにOを入れ、(	)内に日	付	を記入し	てください。		
	A 太陽光発電施設等と地域環境と	の調和に関す	る	条例第7	条第1項の	届出あり	
	(届出 西暦	年	月		日)		
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境と	の調和に関す	る	条例第7	条第1項の	届出なし	
	(設置工事着手 西暦 2017	年 2	月	27	日)	※未着手の場合は着手予定日を記入	
7	発電開始日: 西暦 2017	年 4	月	27	日)		

			基準への適合状況等 (※2)		
=	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。	
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合		
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合		
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合		
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合		
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合		
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合		

排		事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
	不適地	急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 土砂災害 警戒区域 (Y区域)	事業区域内にY区域が含まれているか。 事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	該当なし	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	該当なし	盛土造成面積: m <sup>2</sup> (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	該当なし	斜面の最大勾配: 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	該当なし	
変状	沈下・隆起があるか。	該当なし	
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし	
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。	該当なし	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	該当なし	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし	
については ※4 (1)~(3) いて「有」の:	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6) 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業区域の所在地:		兵庫県力	四西市和	泉町字十万池尻1407
2	発電事業者住所:			加古川	市平岡町二俣249-1
	氏名:	株式会社二川	ホールディン	/グス イ	代表取締役 二川昌也(ため池に設置)
	※ 法人その他の団体にあって	は、主たる事務所の	所在地、その	2名称及7	び代表者の氏名
3	再生可能エネルギー発電事業	計画の認定設備ID:			A895486E28
4	設置工事: 完了 工工	事中 未着手			
5	事業区域の面積(発電出力):	8,000 平方	メートル(	490 k	(W)
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、	()内に日付る	を記入してく	ださい。	
	A 太陽光発電施設等と地域環	境との調和に関する <b>3</b>	条例第7条第	1項の届	出あり
	(届出 西暦	年 月		日)	
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環	 境との調和に関する	 条例第7条第	1項の届	出なし
	(設置工事着手 西暦	2016年 10月	1	日)	
7	発電開始日: 西暦	2016年 3月	24	日)	

			基準への適合状況等 (※2)	
=	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合	
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合	
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合	
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合	
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合	
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合	

排		事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置 不適地	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
		急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 土砂災害 警戒区域 (Y区域)	事業区域内にY区域が含まれているか。 事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	該当なし	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	該当なし	盛土造成面積: m <sup>2</sup> (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	該当なし	斜面の最大勾配: 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	該当なし	
変状	沈下・隆起があるか。	該当なし	
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし	
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。	該当なし	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	該当なし	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし	
については ※4 (1)~(3) いて「有」の:	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6) 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号 358

1	事業区域の所在地:		兵庫県加西市鶉野町	T1168
2	発電事業者住所:	兵庫	県姫路市花田町一本 <sup>2</sup>	公字牛塚1-1
	氏名:	神姫トラス	、ホープ株式会社(旧	株式会社ホープ)
	※ 法人その他の団体にあっては、	主たる事務所の所在地、	その名称及び代表者の	氏名
3	再生可能エネルギー発電事業計画の	)認定設備ID:	A7	21967E28
4	設置工事: 完了 工事中	未着手		
5	事業区域の面積(発電出力):	6,047 平方メートル	( 403 kW)	
6	A、BのいずれかにOを入れ、(	)内に日付を記入し	てください。	
	A 太陽光発電施設等と地域環境と0	D調和に関する条例第7	条第1項の届出あり	
	(届出 西暦	年 月	日)	
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境との	<u></u> D調和に関する条例第7	条第1項の届出なし	
	(設置工事着手 西暦 2013	年 4 月 20	日)	
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 2013	年 8月 9	日)	

			基準への適合状況等 (※2)	
=	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合	
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合	
安定性	(3) 擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合	
の確		当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合	
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合	
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合	

排	(6)排水 施設 の能 力	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	不適合	発電開始年が平成25年の為 条例とは合わず 不適合 盛土 切土による 造成ではなく、雨水排水は、現状地盤の勾配と 浸透により処理されているため、支障なしと判 断
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	不適合	同上 排水設備等 なし。
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	不適合	同上 排水設備等 なし。
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	不適合	同上 排水設備等 なし。
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	不適合	同上 排水設備等 なし。
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置 不適地	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
		急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	不適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事 項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1)土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無	
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積:
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配: 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無	
変状	沈下・隆起があるか。	無	
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	有	支障なし
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	無	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	有	支障なし
(6)経年によ	ガリ浸食跡があるか。	無	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	無	
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	無	
については、 ※4 (1)~(3) いて「有」の	こついて該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6) 擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 こついて「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号 359

1	事業区域の所在地:		車県加西市翡野町四上条2	2089-1
2	発電事業者住所:	兵	庫県南あわじ市広田広田	547-2
	氏名:	サンライ	ズ株式会社 代表取締役	· 谷村克也
	※ 法人その他の団体にあっては	は、主たる事務所の所在地、	その名称及び代表者の氏名	
3	再生可能エネルギー発電事業計	画の認定設備ID:	A86803	39E28
4	設置工事: 完了 工事	中 未着手		
5	事業区域の面積(発電出力):	5,526 平方メートル	( 500 kW)	
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、	( )内に日付を記入し	てください。	
	A 太陽光発電施設等と地域環境	との調和に関する条例第7	条第1項の届出あり	
	(届出 西暦	年 月	日)	
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境	との調和に関する条例第7	条第1項の届出なし	
	(設置工事着手 西暦 20	)14 年 12 月 25	日)	
7	<b>発電開始日</b> : 西暦 20	)15年 4月 15	日)	

			基準への適合状況等 (※2)	
=	事 項	防災上の措置に関する基準(※1)	適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合	
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合	
安定性	(3)擁壁	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合	
の確	構造	当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合	
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合	
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合	

排	(6)排水 施設 の能 力	事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	不適合	地面への自然浸透により排水
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	不適合	同上
設の	施設 の構	維持管理の容易な構造であるか。	不適合	同上
設置	造	土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	不適合	同上
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置 不適地	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
		急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	不適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)
(1) 土砂災害 警戒区域 (Y区域)	事業区域内にY区域が含まれているか。 事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m <sup>2</sup> (盛土造成がある場合)
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配: 25 度 (斜面に工作物を設置している場合)
(4) <u>経年によ</u> <u>る</u> 地盤の	クラック、亀裂があるか。	無	
	沈下・隆起があるか。	無	
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	該当なし	
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	該当なし	
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	該当なし	
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。	該当なし	
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	該当なし	
40 (>•(0)	吹付モルタルの剥離があるか。	該当なし	
については、 ※4 (1)~(3) り いて「有」のり	こついて該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6) 擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 こついて「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 尺( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u>	変状に関 する総合 評価	支障なし

防災上の措置に関する基準への適合状況

整理番号

1	事業凶域の所在地:	兵庫!	県加西市翡野町子四中条1913番地	
2	発電事業者住所:	兵	庫県加古郡稲美町中村1222番地	
	氏名:	株式	会社城陽 代表取締役 山本昌基	
	※ 法人その他の団体にあって	は、主たる事務所の所在地、	その名称及び代表者の氏名	
3	再生可能エネルギー発電事業計	十画の認定設備ID:	A769042E28	
4	設置工事: ○完了 工	事中  未着手		
5	事業区域の面積(発電出力):	21,384 平方メートル	$(\boxed{1,350}$ kW)	
6	A、Bのいずれかに〇を入れ、	()内に日付を記入し	てください。	
	A 太陽光発電施設等と地域環境	<b>竟との調和に関する条例第7</b>	条第1項の届出あり	
	(届出 西暦	年 月	日)	
$\bigcirc$	B 太陽光発電施設等と地域環境	 竟との調和に関する条例第7	- ' 条第1項の届出なし	
	(設置工事着手 西暦 2	2013年 10月 1	目)	
7	<b>発電開始日</b> : <b>西</b> 暦 2	2014 年 3 月 19	目)	

		防災上の措置に関する基準(※1)	基準への適合状況等 (※2)	
=	事 項		適 合・ 不適合 ・不 明	<u>不適合又は不明の場合の防災に関する</u> <u>自己評価等</u> を記入ください。
	(1)地盤 の 勾配	工作物が設置された地盤の勾配は30 度以下であるか。または、30度を超える場合、地盤調査等により、その安定が確認できるか。	適合	
地盤の	(2)擁壁 の 設置	切土等により崖(勾配が30度を超える土地)が生じた場合、当該崖の表面が擁壁で覆われているか。または、覆われていない場合、勾配、地質、土質及び高さからみて崩壊のおそれがない、又は周辺の土地利用の状況等により擁壁の設置の必要がないか。	適合	
安定性	(3)擁壁 の 構造	安定計算等により、その安定性が確かめられたも のであるか。	適合	
の確		当該擁壁の裏面の排水を良くするための水抜穴及 び透水層が設けられているか。	適合	
保	(4)のり 面の 構造	切土等によりのり面が生じた場合、当該のり面の 構造が、小段又は排水施設の設置その他の措置が 適切に行われているか。	適合	
	(5)のり 面保 護	事業区域内ののり面が雨水、風化等により浸食されないよう植生工等によるのり面保護が行われているか。	適合	

排		事業区域の規模、地形、降水量等及び放流先の排水能力を考慮し、事業区域及び流域の地表水等が有効に排出される勾配及び断面を有する排水施設が設置されているか。	適合	
水施	(7)排水	堅固で耐久性を有するものか。	適合	
設の	施設 の構 造	維持管理の容易な構造であるか。	適合	
設置		土砂の流出を防止するための泥溜め又は沈砂池が 適切に設置されているか。	適合	
	(8)調整 池の 設置	周辺地域の浸水被害の可能性が明らかに高まる場合、調整池が設置されているか。	適合	
		災害危険区域が含まれていないか。	適合	
	設 置 不適地	地すべり防止区域が含まれていないか。	適合	
		急傾斜地崩壊危険区域が含まれていないか。	適合	
		土砂災害特別警戒区域が含まれていないか。	適合	
			総合評価	適合

なお、施設基準の各項目について、その解説や標準的な検討方法を示した「技術マニュアル(案)」を以下の兵庫県HPに掲載していますので併せて御確認ください。

兵庫県HP: https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/taiyoukoujourei.html の関連資料に掲載しています。

※2 基準への適合状況には、適合・不適合・不明を選択し、<u>不適合又は不明の場合は、防災に関する自己評価</u> <u>(できるだけ根拠となる数値等も併せて)及び今後の安全対策の方法、時期等を記入。</u>

事項	内容	有・無 ・該当なし (※3)	自己評価、判断等(※4) (支障なし・要経過観察・対策が必要)		
(1)土砂災害	事業区域内にY区域が含まれているか。	無			
警戒区域 (Y区域)	事業区域の下流域にY区域が存しているか。 (存する場合のY区域内の民家の戸数)	無	民家の戸数: 戸 (下流域にY区域が存する場合)		
(2)盛土造成	事業区域内に盛土造成があるか。	無	盛土造成面積: m² (盛土造成がある場合)		
(3)工作物の 斜面設置	工作物を斜面に設置しているか。	無	斜面の最大勾配: 度 (斜面に工作物を設置している場合)		
(4) <u>経年によ</u> る地盤の	クラック、亀裂があるか。	無			
変状	沈下・隆起があるか。	無			
(5) <u>経年によ</u>	クラック、ずれ、はらみ、抜けがあるか。	無			
<u>る</u> 擁壁の 変状	水抜き穴のつまり、背面土流出があるか。	無			
(※3)	遊離石灰の溶出、錆汁の痕跡があるか。	無			
(6) <u>経年によ</u>	ガリ浸食跡があるか。	無			
<u>る</u> 盛土の り面の変	表面の不陸または凹凸があるか。	無			
状(※3)	吹付モルタルの剥離があるか。	無			
については ※4 (1)~(3) いて「有」の	について該当の「有」「無」を選択。ただし、(5)、(6)、 、擁壁、盛土がなければ「該当なし」を選択。 について「有」の場合、数値を記入。(4)~(6)につ 場合、「支障なし」「要経過観察」「対策が必要」のい 択( <u>同封の「経年による地盤の変状等の自己点検の</u> 。	変状に関 する総合 評価	支障なし		